

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	寄居町における生活環境の快適性を高める下水のみちづくり（重点計画）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	寄居町												
計画の目標	下水道整備を行うことにより、快適な暮らしを実現し、良好な生活環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	495	A	495	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	下水道による汚水整備達成率を62.0%（H27）から92.1%（H31）に増加させる。			
	下水道による汚水整備達成率	62%	64%	92%
	下水道整備済面積（ha）/汚水対策を実施すべき面積（540.4ha）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
H30年度より重点計画に移行												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	寄居町	直接	寄居町	管渠(汚水)	新設	寄居第2処理分区汚水枝線整備事業	管渠整備 A=25ha	寄居町						495		-
											小計						495		
											合計						495		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄居町社会資本整備計画評価委員会で、数値目標の達成状況等を検証し、その結果を踏まえて、今後の整備計画を精査し、推進していく。</li> </ul>	令和2年度
	公表の方法
	町公式ホームページにおいて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道処理人口普及率が整備計画当初の平成27年度の62.0%から、29.9%増加の91.9%になり、8290人が公共下水道を使用できるようになった。男衾駅東口周辺の排水問題の解消につながった。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資本総合整備計画（寄居町における生活環境の快適性を高める下水のみちづくり）により、公共用水域の水質保全、生活環境の改善を図ることが可能になった。今後は、令和2年度からの次期整備計画を着実に遂行し、水洗化率の向上、安全、快適な生活環境を実現するため、男衾駅西側の面整備を推進していく。</li> </ul>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	・ 下水道処理人口普及率が平成27年度の62.0%から令和元年度末91.9%となり29.9%増加した。		
	最終 目標値	92%	都市計画事業の面整備を予定する地区があり、その部分を除外した為差異が生じた。
	最終 実績値	92%	